令和３年度の取組内容及び令和４年度の予定について

令和4年3月4日

徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課

目　次

１．令和3年度の取組内容

・柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業
・ ワークスタイル変革　実践事例集
・とくしまテレワーク講座
・とくしま働き方フォーラム2022

２．令和4年度の予定

・とくしまスマートワークプロジェクト
・【参考】徳島県令和4年度16か月予算（案）の主な事業
（その他テレワーク関連）

３．今後の支援に向けて

１．令和３年度の取組内容

柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業

- **テレワークセンター徳島の運営**
- **県内企業を対象としたアンケート調査**
- **とくしま県版ワークスタイル変革セミナー、実践事例集**
  - 令和３年６月２２日～令和３年９月７日
    リアル（テレワークセンター徳島）、オンライン、オンデマンドで開催
  - 令和３年９月
    県内のテレワーク導入モデル事例を紹介する冊子を作成
- **とくしまテレワーク講座**
  - 令和３年１０月５日～令和４年２月１０日
    リアル（テレワークセンター徳島）、オンライン、オンデマンドで開催
- **とくしま働き方フォーラム2022**
  - 令和４年２月１０日　テレワークセンター徳島にて開催
    （一部オンライン配信）

1．令和3年度の取組内容

ワークスタイル変革　実践事例集

業種や規模、テレワーク導入目的がそれぞれ違う県内企業5社の取組事例を取りまとめ、「徳島モデルのワークスタイル変革事例」として紹介。

〈掲載企業5社〉

- 株式会社ときわ
- 株式会社ヨコタコーポレーション
- 株式会社フジスレート
- 医療法人むつみホスピタル
- 株式会社エコー建設コンサルタント

・テレワーク導入支援で企業訪問する際などに活用
・テレワークセンター徳島のサイトから取り寄せも可

詳細はこちら（テレワークセンター徳島）→

1．令和3年度の取組内容

とくしまテレワーク講座

R2「とくしまテレワーク講座」

○「テレワーカーコース」、「推進・支援コース」
　から選択して受講（単発受講も可）
○受講申込人数　延べ509名

R3「とくしまテレワーク講座」

○3つのコースから選択可能（単発受講も可）
　・自営型テレワーカーコース
　・コーディネーターコース
　・推進・支援コース
○受講方法はハイブリッド形式
　（オンライン、オンデマンド、来館）
○**受講申込人数　延べ993名**

1．令和3年度の取組内容

とくしま働き方フォーラム2022

日時：令和4年2月10日（木） 10：00～17：00
場所：テレワークセンター徳島
※一部オンライン参加可能にする等、新型コロナ
　ウイルス感染症対策を実施

01 在宅ワークマッチング

県内で養成されたテレワーカーのマッチングイベントを実施

（参加企業4社）

02 とくしまテレワーク講座修了式

「とくしまテレワーク講座」の各コース修了者に対して、修了証書授与式を開催

（自営型8名
コーディネーター2名
推進・支援2名（重複1名））

1．令和3年度の取組内容

とくしま働き方フォーラム2022

03 田澤由利氏 特別講演「ポストコロナ時代のテレワーク 企業が、働く人が、地域が目指すべきこと」

田澤由利氏(株式会社テレワークマネジメント／株式会社ワイズスタッフ代表取締役)をお迎えし、最新の「働き方」や「目指すべきこと」について語っていただきました。バーチャルオフィスツールのデモなどもあり、楽しく学んでいただくことができました。

04 「ワークスタイル・イノベーションを考える！」

徳島労働局　共催企画

参加者それぞれが、自社の課題解決のためのワークショップや相談会に参加し、情報収集しました。（徳島労働局/ 徳島働き方改革推進支援センター/ とくしまスマートライフショーケース/ テレワークセンター徳島）

05 テレワークサポーターズ企業による オンライン展示＆商談会

7社の「とくしまテレワークサポーターズ企業」とオンラインでつなぎ、各種ツール等について紹介してもらいました。

2. 令和4年度の予定

［商工労働観光部］

DX　㊕ とくしまスマートワークプロジェクト

【令和４年度当初予算額　20,000千円】

1　目　　的　　働きやすい職場づくりを進め、労働力の確保・定着を図るため、県内企業におけるテレワークの導入や各種業務のデジタル化（＝「スマートワーク」）の推進を支援する。

2　事業内容

（１）進化する「テレワークセンター徳島」を拠点とした支援

ＩＣＴの活用や就労支援機関等との連携強化により、県内企業の働き方改革を加速させる。

「テレワークセンター徳島」ホームページ

○　県内企業への「スマートワーク」導入支援
- 「スマートワークアドバイザー（仮称）」による アウトリーチ型支援（出張相談・出前講座など）の強化
- 新たに設置する「スマートワーク支援サイト」による ＩＣＴツールの情報提供とオンラインによる技術支援の実施
- 「テレワークサポーターズ企業」によるＩＣＴサービス・ノウハウの提供

○　テレワーク人材の育成・マッチング
- テレワーカー養成のためのスキルアップ研修等の実施
- 養成したテレワーカーと県内企業とのマッチング支援

「はぐくみ支援企業」表彰企業の御紹介

（２）「テレワークdeはぐくみ支援表彰」の創設

「はぐくみ支援企業」において、テレワーク導入による子育てに優しい職場環境づくりを促進するため、新たな表彰制度を創設する。

担当：労働雇用戦略課

２．令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算（案）の主な事業（その他テレワーク関連）

- **「徳島・にし阿波」農泊・移住交流促進事業**

  【令和4年度当初予算額　4，000千円】

- **離職者向けオンライン職業訓練推進事業**

  【令和3年度2月補正額　4，500千円】

- **「転職なき移住」をリード！「サステナブルワークスタイル」の創出**

  【令和4年度当初予算額　19，500千円】

  【令和3年度2月補正額　13，500千円】

- **サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化**

  【令和4年度当初予算額　12，000千円】

  【令和3年度2月補正額　16，000千円】

- **「アフターコロナ」を牽引する「県庁DX」の具現化**

  【令和3年度2月補正額　59，000千円】

2. 令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算(案)の主な事業（その他テレワーク関連）

［西部総合県民局］

「徳島・にし阿波」の強みを活かした持続可能な地域づくり

【令和４年度当初予算額　42,200千円】

1　目　　的　　地域住民が安心して快適に暮らせる持続可能な「にし阿波」を実現するため、アフターコロナを俯瞰し、地域が一体となって、「にし阿波」独自の魅力ある地域資源を最大限に活かした地域づくりに取り組む。

2　事業内容

（１）「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業　31,000千円

「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の強みを活かし、アフターコロナに選ばれる観光地域づくりを推進するため、重点支援ＤＭＯ「そらの郷」を核に、「ここだけ」の魅力的なコンテンツを活かした新たな旅行商品を造成し、戦略的なプロモーションを実施するとともに、「にし阿波」ならではの教育旅行の魅力を効果的にアピールする。

「Hidden Tokushima: Iya Valley & Other Wonders」（facebook）
※外国人地域おこし協力隊による情報発信

（２）みんなで守る！「世界農業遺産」維持・発展事業　7,200千円

「世界農業遺産」を核に、ＳＤＧｓ先進地域「にし阿波」への関心をより高め、「持続可能な地域づくり」を推進するため、戦略的な情報発信や農業者の所得向上、人材育成等の取組みを発展・深化させるとともに、象徴品目「雑穀」の安定的な供給体制の確立や「多様な担い手」の確保に取り組む。

（３）㊕「徳島・にし阿波」農泊・移住交流促進事業　GX　4,000千円

「にし阿波」の豊かな自然や伝統的な暮らしを活かした「農泊」を核に、地域活性化を図るため、農泊事業者や農業者等を対象に、農泊推進の気運を醸成するフォーラムの開催、ワーケーション対応や新規参入を推進するとともに、「農泊」を利用した就農体験ワーケーションツアーを実施する。

「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」（Instagram）

担当：地域創生観光部、農林水産部

2. 令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算(案)の主な事業（その他テレワーク関連）

［商工労働観光部］

DX　(新) 離職者向けオンライン職業訓練推進事業

【令和３年度２月補正額　4,500千円】

1　目　　的　　コロナ禍において、訓練受講生の感染防止を図るとともに、受講に係る時間や場所の制約を緩和し、安全性、利便性の向上を図るため、県が民間教育訓練機関に委託して行う「離職者向け職業訓練」について、オンラインによる訓練の実施を推進する。

2　事業内容　　オンライン職業訓練の推進

民間教育訓練機関がオンラインによる職業訓練を実施する場合に、「かかり増し経費」について、委託訓練費の上乗せを行う。

「委託訓練の紹介」

○対象訓練　IT技能科、DX基礎科、テレワーク実務科、医療事務科　等

○実施方法　テレビ会議システム等を活用した同時双方向オンライン訓練

○委 託 先　民間教育訓練機関

○コース数　３コース程度を想定

担当：産業人材育成センター

2. 令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算(案)の主な事業（その他テレワーク関連）

［政策創造部］

GX 新「転職なき移住」をリード！「サステナブルワークスタイル」の創出

【令和４年度当初予算額　19,500千円】
【令和３年度２月補正額　13,500千円】

1　目　　的

「アワーケーション」や「複業人材」という「転職なき移住」により、「新たな人の流れ」づくりを加速化するため、都市部人材を地域に結びつけ、「持続可能性の高い地域づくり」へとつなげる「サステナブルワークスタイル」を徳島から創出する。

2　事業内容

（１）新 アワーケーション拡大強化プロジェクト　23,000千円

アワーケーションのブランド化を一層推進し、地域課題の解決を促進。
① 誘致ターゲットを、「若者」や「ファミリー」など「個人」へと拡大
② 「ＳＤＧｓ」や「脱炭素化」などの先駆的取組みを、戦略的に魅力発信
③ 「社会貢献活動」や「二拠点居住」など多様な「ライフスタイル」に対応したプランを創出

アワーケーション紹介動画

（２）新 複業人材活用進化展開プロジェクト　10,000千円

持続可能な社会実現のため、「都市部人材」と「地域」が互いに補い合う、徳島ならではの「複業人材活用の先進モデル」を全県展開！
① 人材と地域を繋ぐ「複業コーディネート機能」を東部・南部・西部エリアに整備
② エリアに深掘りした「複業マッチング」を展開し、人材のスキル活用を定着
③ 人材が活躍できる「地域活動・課題」を集約し、人材と地域がいつでも、どこでも、「関係を深める体制」を構築

担当：とくしまぐらし応援課

2. 令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算(案)の主な事業（その他テレワーク関連）

［政策創造部］

DX

サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化

【令和４年度当初予算額　12,000千円】
【令和３年度２月補正額　16,000千円】

1　目　　的　　コロナ禍を契機とした「新たな働き方」が加速する中、引き続き、サテライトオフィス開設において「選ばれる徳島」となるため、「サテライトオフィスコンシェルジュ」による「寄り添い型支援」を充実強化するとともに、オフィス開設費用支援や、先行進出企業等と連携したマッチングイベント等により、さらなる「人とビジネスの好循環」を創出し、活力ある地域社会の実現を図る。

2　事業内容

（１）　サステナブルワークスタイル推進事業　16,000千円

新たにＤＸやＧＸを推進する企業等を巻き込み、サテライトオフィス開設による地域活性化や地域課題の解決を促進するため、ＳＤＧｓをリードする徳島ならではの働き方「サステナブルワークスタイル」を提案、サポートする。

「サテライトオフィス＆YOU」動画

①誘致・定着支援　6,000千円

市町村や先行進出企業等と連携した県外（東京・大阪）マッチングイベント、地域での交流促進やビジネス創出のための県内マッチングイベントを実施。

②拠点整備事業　10,000千円

サテライトオフィス開設にかかる備品購入費、旅費交通費などの経費を支援。
【補助率】：２／３　【上限額】：最大１００万円

（２）　サテライトオフィス誘致促進事業　12,000千円

各圏域を熟知した「サテライトオフィスコンシェルジュ」の活用により、進出希望企業の視察・相談にきめ細やかに対応するとともに、新たに都市部複業人材とのマッチング支援と連携を図るなど、進出企業への細やかなフォローアップにより、地域への「定着支援」を強化する。

担当：とくしまぐらし応援課学び・働き創造室

2. 令和4年度の予定

【参考】徳島県令和4年度16か月予算(案)の主な事業（その他テレワーク関連）

［経営戦略部］

DX　㊕「アフターコロナ」を牽引する「県庁ＤＸ」の具現化

【令和３年度２月補正額　59,000千円】

1　目　　的　　「アフターコロナ」を俯瞰した質の高い行政サービス創出に向け、
「行政運営のデジタル化」を加速するとともに、ＤＸ時代の「新しい働き方」を実現する。

2　事業内容

（１）㊕ 県庁業務デジタル化推進事業　44,000千円

県庁業務におけるデジタル化が着実に進んでいる中で、
個別システム間の連携や、一部に残存するアナログ業務などの、
「各所属単体では発見・解決しにくい課題」を「見える化」するとともに、
「専門家の知見」を活用しながら、解決方法を策定し、県庁ＤＸを加速する。

・　部局横断型の庁内プロジェクトチームによる業務の課題検討・抽出
・　経験豊富な外部のＤＸ専門家に委託し、
第三者の視点からＤＸによる改善で効果の高い業務を一覧化、
ハード・ソフト両面からの「処方箋」を作成

⇒　ＤＸによる利用者目線に立ったシステムの全体最適化や業務改善を実現し、
さらなる「県庁業務の効率化」と「県民サービスの向上」を図る。

（２）㊕ 新次元のテレコミュニケーション　15,000千円

県庁のテレワークを推進する中で課題となっている、
「コミュニケーション不足」を解消し、県庁版テレワークの定着を図るため、
業務支援ツール「総合業務管理システム」のチャット機能強化及び
スマホ用メッセージアプリ開発を行う。

担当：スマート県庁推進課

3. 今後の支援に向けて

➢ 支援に対する県内のニーズ

- **令和3年度「ICT化促進とテレワーク導入に関するアンケート」**
  - ハードやソフト導入の「コスト補助」
  - テレワーク時の「マネジメント」や「評価」の方法
  - テレワーク導入の「手順」「推進体制」「計画策定」

    ・・・などに対する情報提供や個別相談をしてほしい。

- **「とくしま働き方フォーラム2022」アンケート**
  - テレワーク（障がい者、若しくは病気療養中含む）の就職支援やインターンシップ情報の窓口を教えてほしい。

・・・など

■ アウトリーチ型の個別支援強化
■ 徳島労働局との連携による助成金等の情報提供
■ 県の就職支援情報サイト「ジョブナビとくしま」の活用
■ 障がい者雇用促進事業等との連携